

令和3年度 基本評価調書①		所管部局	総合政策部	所管課	国際課
施策名	海外との交流拡大と多文化共生の推進			施策コード	02122
政策体系(中項目)	連携・協働・交流による未来に向けた地域づくり			政策体系コード	3(6)B
知事公約	C0017 C0019 C0020 C0114	総合戦略	A4211	国土強靱化	-
SDGs				総合判定	概ね順調
					事務事業数 15

【1 Plan】

施策目標	諸外国との友好親善や道民の国際意識の醸成を図るため、関係団体等と連携し、多様な国際交流等の取組を推進するとともに「外国人が安心して働き暮らしやすい北海道」を目指し、多文化共生社会の実現に向けた取組を進める。					
現状と課題	人口減少が進む中、地域社会の活性化を図るため、技能実習生等の今後も増加が見込まれる在留外国人の受入環境整備など多文化共生社会の実現に向けた取組を進めるとともに、コロナ禍で人的往来が制限される中で、海外との友好交流などの取組を着実に推進する必要がある。					
主な取組	○姉妹・友好提携地域等をはじめ、海外との友好親善や人材交流等の取組 ○北海道外国人相談センターの運営や多文化共生の推進に向けた地域での研修会の開催等					
予算額(千円)	R3	275,259	R2	297,561	R1	261,024
施策のイメージ						

＜成果指標の達成状況＞ ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	人	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
外国人居住者数(暦年)	目標値		28,794	30,109	39,000	51,000	99.3%	B
	実績値		36,899	42,485	38,725	-		

設定理由 多文化共生の推進状況(外国人に選ばれ、働き暮らしやすい環境が整っているか)を測る指標として設定

分析(主な取組と成果)

北海道外国人相談センターによる相談対応や多言語による情報発信を中心とした多文化共生の取組の推進により、外国人材の受入拡大や共生に向けた環境整備に努めてきたが、コロナ禍の出入国制限等による往来制限等の影響により、R2年度の実績値は目標値を下回った。

指標名②			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							

設定理由

分析(主な取組と成果)

指標名③			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							

設定理由

分析(主な取組と成果)

令和3年度 基本評価調書②	施策名	海外との交流拡大と多文化共生の推進	施策コード	02122
---------------	-----	-------------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
	外国人居住者数（暦年）	36,899	42,485	38,725	39,000	B
目標（指標）の達成状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで順調に推移していた外国人居住者数が大幅に鈍化した。水際対策による出入国規制などの外的要因による影響が大きいものと考え、今後の往来再開後を見据えた取組の推進が重要である。				指標総合判定	B
連携状況	「北海道人材確保対策推進本部外国人材分科会」を通じて庁内関係部局と連携して取り組むとともに、市町村や大学、民間団体との連携・協力により、在住外国人への新型コロナ関連情報の発信や、北海道外国人相談センターの周知・活用促進による受付件数の増加等、取組の効果的な推進が図られた。				連携判定	○
緊急性優先性	「令和4年度 国の施策及び予算に関する提案・要望」において、「外国人材の円滑な受入れと共生に向けた環境整備」を要望しており、北海道外国人相談センターの運営をはじめとした各種施策・事業を通じ、外国人の受入拡大・共生に向けた環境づくりに取り組んでいる。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	成果指標の鈍化に歯止めをかけることが急務であり、海外との本格的な往来再開へ向けて、感染防止対策や支援策に係る情報発信や相談対応をはじめとして、外国人が再び北海道を選び安全・安心に働き暮らすための取組をより重点的に推進する必要がある。				総合判定（一次評価）	概ね順調

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	出入国手続をはじめ、道内の感染防止対策や検査・ワクチン接種状況、各種支援策等、新型コロナウイルスによる生活への影響に係る外国人の不安の解消が、成果指標の達成に当たり最も重要であるため、北海道外国人相談センターの一層の機能強化を図る。
②	防災教育や日本語教育など、在住外国人の安全・安心な生活に資する取組が全道的に推進されるよう、市町村や関係団体などの地域における取組や多様な主体が連携した取組を道として後押しし、全道的な受入環境整備を促進する。	
③		

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	道の補助金等が団体の当期支出の2分の1を下回るよう道補助金等以外の財源の確保手段を模索するなど、収支改善策を検討し団体の自立化の推進に努めること	対応状況 (R3.3時点)	引き続き、道内企業等への新規加入の勧誘による会費の確保や、委託業務の受注等により、補助金に依らない自主財源の確保に努めるよう収支改善に向けた取組を推進する。
R3年度二次政策評価			

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	<p>○新型コロナウイルスの影響が続いており、北海道外国人相談センターに寄せられる相談内容が複雑・多様化し、相談件数も増加傾向にあることから、昨年度相談員を増員した運営体制を維持しながら、引き続き移動相談会の開催やオンラインの活用など相談対応の充実に努める。</p> <p>○在住外国人の安全・安心な生活に資する取組が全道的に推進されるよう、市町村や関係団体などの地域における取組を道として後押し、全道的な受入環境整備を促進する。</p>